

AMD Aは「市民参加型人道支援外交」を提唱し実践してきている。それは「市民間の信頼構築により多様性の共存にもとづいた世界平和に寄与する」外交である。日本外交の究極の利益は世界から孤立しないことである。BBCの調査では、日本は世界で最も嫌われていない国である。①60年間戦争による人殺しをしていない②ODAとして25兆円を利他的にばらまいている③特定のイデオロギーを国益のために振り回していない―が理由と考えられる。人道支援は、物の見方や考え方の異なる、世界中の市民が参加できる分野である。人が困っている時に、苦勞を共にし、決して逃

げない場合に信頼が得られる。人道支援の分野において世界で最も嫌われていない日本がお世話役をする事は世界中から大歓迎されると確信している。東日本大震災も市民参加型人道支援外交の場として大きな意義を發揮しようとしていることを報告したい。

3月11日に発生した東日本大震災被災地における緊急医療チーム派遣は4月20日をもって終了した。宮城県仙台市と南三陸町、岩手県の釜石市と大槌町における避難所医療と巡回診療に日本全国から延べ149人が参加した。一方、海外からも多くの団体がAMD A本部に連絡してきた。「被災地で支援活動をした

国は、彼ら医師、看護師には大槌高校避難所や大槌町の弓道場避難所で被災者と共に昼夜を過ごしてもらった。

3月29日に、彼らと大槌高校で被災者支援のための国際会議を開催した。彼らのAMD Aへの募金をどのように活用するかがテーマだった。結論は、被災地の高校生に明日への希望を持ってもらうための奨学金だった。「AMD A東日本大震災国際奨学金」と名づけられた。原則として、将来に医療従事者をめざす、高校から推薦された生徒が対象。各校1学年5名ずつで1校計15名が卒業するまでの3年間、1カ月1万5000円の支給。海外の団体から、

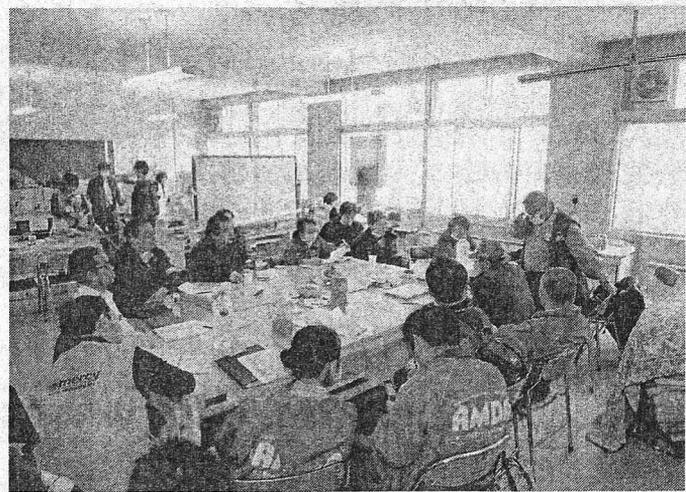
各国の医療事情や文化に関心があれば奨学生を夏休みなどに受け入れることも提案された。現在、被災者のために多くの奨学金が創設されているなかで、海外との補助線を持つている貴重な奨学金である。国内外から問い合わせがあり、うれしい限りである。国内では、NPO法人ネットワーク地球村が当初から共催者として参加してくれたことを付記しておきたい。

AMD Aは2006年2月に発生したフィリピンの南レイテ島山崩れの被災者救援医療活動後に、看護師をめざす被災地の高校生に奨学金を給付。そのほかにも海外での災害被災地での奨学金を創設している。「神や仏に見放されたのではないか」と絶望状況に陥った若い人たちに、「あなたを見放していません」

AMD A東日本大震災国際奨学金

というメッセージを奨学金により数年間送り続けることができる。同時に、私達はあなたを必要とする仕事をおしてAMD Aの提唱する「市民参加型人道支援外交」に参加し、同じ貴重な経験をしてくださいます。そのために勉強をしてください」である。AMD A東日本大震災国際奨学金の恩恵を受けた高校生たちが医療従事者になった時に、命を救う仕事をとおしてAMD Aの提唱する「市民参加型人道支援外交」に参加し、同じ貴重な経験をしてくださいます。そのために勉強をしてください」である。AMD A東日本大震災国際奨学金の恩恵を受けた高校生たちが医療従事者になった時に、命を救う仕事をとおしてAMD Aの提唱する「市民参加型人道支援外交」に参加し、同じ貴重な経験をしてくださいます。そのために勉強をしてください」である。

AMD Aは2006年2月に発生したフィリピンの南レイテ島山崩れの被災者救援医療活動後に、看護師をめざす被災地の高校生に奨学金を給付。そのほかにも海外での災害被災地での奨学金を創設している。「神や仏に見放されたのではないか」と絶望状況に陥った若い人たちに、「あなたを見放していません」



3月29日に大槌高校避難所で開かれた被災者支援のための国際会議